

県民協働型自然共生手づくり事業  
「宇部市ヒヌマイトトンボ生息地保全活動」

- ☆ 日 時：平成21年6月27日（土） 10：00～12：00  
☆ 場 所：ヒヌマイトトンボ代替地  
☆ 参加者数：26人  
☆ 主 催 者：山口むしの会

## 1 スケジュール

- 10：00～ 開会行事・保護活動について  
10：05～10：20 ヒヌマイトトンボの説明  
10：20～10：40 清掃活動（ゴミ拾い）  
10：40～11：50 ヒヌマイトトンボ観察会  
11：50～12：00 閉会

## 2 活動内容

ヒヌマイトトンボの保全・保護活動を始めた経緯とヒヌマイトトンボについての説明後、参加者で清掃活動（ゴミ拾い）を実施。その後、ヒヌマイトトンボの観察を行った。

### 【開会行事・保全活動について】



主催者（山口むしの会会員）管氏より開会のあいさつ。

保全活動については、ヒヌマイトトンボがこの場所で生息できる様に草刈や水の管理等の環境整備を行っていることを説明されました。

### （清掃活動）



ヒヌマイトトンボ生息地の保全活動として、空き缶やゴミ拾いを実施しました。河口に隣接した土地であることから、上流から流されてきたと思われるゴミが多数あり、参加者も民家のない場所のゴミの多さに驚き自分の行動も見直すきっかけになったようです。

アスファルトの奥が生息地。こんなところにもビニールゴミが。



山口むしの会 小坂氏よりヒヌマイトトンボの説明を受けました。

ヒヌマイトトンボは県内11カ所（現在把握している数）に生息している。雌雄同色型の生息は、国内ではここを含め3カ所が確認されている。成虫の色は茶、黄緑で7、8月に最盛期をむかえる。

生息地は海岸沿いのヨシ等の繁茂する汽水域の湿地や沼。

(観察会)



ヒヌマイトトンボのオスを発見！



黄緑色したオス。体長3cm程度。小さなトンボであり周りの景色にもとけ込み、なかなか見つからない。



交尾中。この後、アオモンイトトンボが攻撃をするのを目撃



明るい茶（オレンジ色に近い）のヒヌマイトトンボのメス



アオモンイトトンボ  
(ヒヌマイトトンボの天敵)



これもイトトンボの仲間

観察に際して・・・

- ・ヒヌマイトトンボの生育環境保全では、ヨシ刈りはしない。
- ・冬場も水がある状態がベストである。
- ・湿地に塩分が含まれていることは重要で、真水の場合は天敵となるトンボが生きられる。
- ・ヒヌマイトトンボを見つけるポイントはヨシ原の中の水面から10～30cmの位置を探すこと。

観察会、ゴミ拾いともに参加者は熱心に参加されていました。小さな生き物が生きていける環境をこわさないことと人が手を入れ作り上げた場所は、ずっと責任をもって見守る必要があることを感じた観察会でした。

(おまけ)

こんな住人にも出会いました。お腹の方から見るとなんだかとてもユーモラス

